

— 株主のみなさまへ —



第82期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社

あずき花

あずきの皮使用



あずき混抄紙 **紅金剛**

この株主報告書の表紙に使用している紙は、井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用しております。

証券コード 2209



井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第82期(2018年4月1日～2019年3月31日)を終了し、株主報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当会計年度における私たちを取り巻く日本の経済環境は、相次ぐ自然災害による影響があったものの良好な雇用環境や設備投資ニーズが追い風となり、緩やかな景気回復基調が続きました。一方で国際情勢は米中貿易摩擦や中国経済の減速、不透明な欧州情勢など不確実性が高まり、国内における消費増税も控え、依然先行き不透明な状況が続いております。

そのような経営環境の中で、元号「令和」の新時代が始まり、新しい時代の幕開けとなる2019年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を翌年に控え、企業動向にも大きな変化が起ころうと予想されます。

中期3カ年計画「新・維新 Next Stage 2020」の2年目を迎え、新しい動きに積極果敢に挑戦するとともに堅実に着実な一歩を踏み出し、サステナブルな成長を目指してまいります。

活動目標として①自己成長と共育の融合への挑戦(自らが成長する意識と意欲を持ち、共に育つ。そして成果を仲間と共有する。)
②全員がマーケター(マーケティングの重要性を理解し、全員が市場の動きに敏感に対応して「おいしい!の笑顔をつくる」)

③イノベーションの絶え間ない挑戦(Next Newを積み重ね、より大きな新しい付加価値を育て上げていく)④「利益＝売上－コスト」の基本算式を忘れない(利益の源泉となる売上とコストのあり方を変化させる。生産性向上をはじめとするコストイノベーションの実行やマーケティング能力の向上による売上拡大で企業力を高め、顧客価値を創造する)⑤健康経営の推進(多くの革新は人材の優秀性がもたらす結果である。人材は「身体と頭脳と心」の健康で、より強い力となる。)の5つに挑戦し、グループ全体で変化の潮流をつかみ取り、確実な成長に取り組んでまいります。

また2019年4月1日付で井村屋グループの新会社として井村屋スタートアッププランニング株式会社(以降I-SUP)を設立いたしました。I-SUPは変化する経営環境に対するグローバル戦略を構築するとともに、保有する経営資源を駆使して新しい事業領域に挑戦し、国内外でその起業化を企画してまいります。

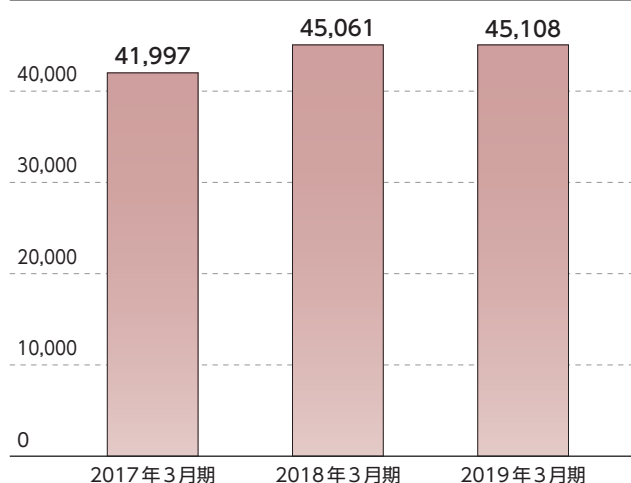
今後とも企業価値の向上に努め、30年後の創業150年、会社設立100周年には更に社会から必要とされる会社であるよう挑み続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

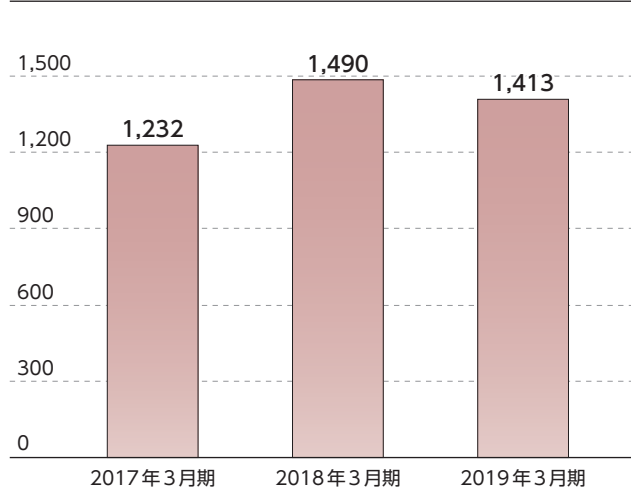
売上高

単位:百万円

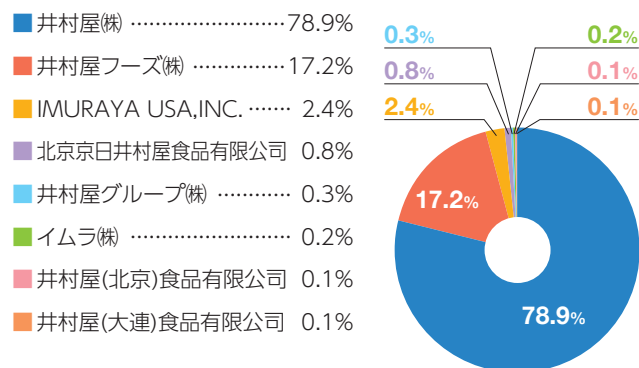


営業利益

単位:百万円

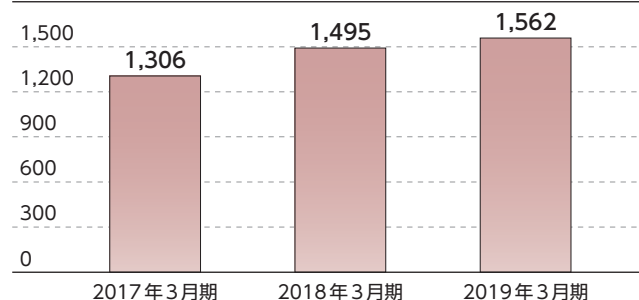


持株会社及び事業会社別の売上高



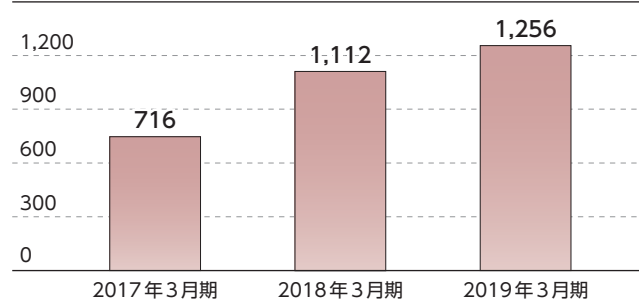
経常利益

単位:百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度末 2018年3月31日	当連結会計年度末 2019年3月31日
(資産の部)		
流動資産	14,516	14,764
現金及び預金	3,380	2,718
受取手形及び売掛金	7,216	7,585
たな卸資産	3,456	3,747
その他	463	714
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	18,744	19,906
有形固定資産	15,580	17,024
無形固定資産	132	134
投資その他の資産	3,030	2,747
繰延資産	12	6
資産合計	33,272	34,676
(負債の部)		
流動負債	15,752	16,604
固定負債	2,334	2,273
負債合計	18,086	18,878
(純資産の部)		
株主資本	12,659	13,601
その他の包括利益累計額	2,494	2,167
非支配株主持分	31	28
純資産合計	15,185	15,798
負債・純資産合計	33,272	34,676

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

設備投資に伴う現預金の減少もありましたが、売掛金や製品在庫の増加、AZUKI・FACTORYの新設などによる固定資産取得により増加いたしました。

POINT 2 負債

計画的な設備投資の資金決済に伴う短期借入金などにより増加いたしました。

POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益が増加いたしました。

連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	当連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	45,061	45,108
売上原価	30,558	31,020
売上総利益	14,502	14,087
販売費及び一般管理費	13,012	12,673
営業利益	1,490	1,413
営業外収益	144	198
営業外費用	139	49
経常利益	1,495	1,562
特別利益	281	240
特別損失	76	13
税金等調整前当期純利益	1,700	1,788
法人税等合計	586	531
当期純利益	1,114	1,257
非支配株主に帰属する当期純利益	1	1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,112	1,256

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

売上面では、点心・デリカテゴリーを中心に売上が増加しました。損益面では、原材料費やエネルギーコストが大きく上昇し、厳しい経営環境となりましたが、生産性向上活動の継続やSCM効果により販売費及び一般管理費の削減が図られました。その結果、売上高、経常利益、当期純利益において過去最高の業績となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 2017年4月1日から 2018年3月31日まで	当連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,498	1,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,188	△ 2,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,323	578
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 50	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,581	△ 658
現金及び現金同等物の期首残高	794	3,375
現金及び現金同等物の期末残高	3,375	2,716

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、春夏商品の前倒し生産による在庫の増加により減少いたしました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、有形固定資産の取得による支出が減少いたしました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年に比べ、自己株式売却及び新株発行が減少し、積極的な設備投資による借入が増加いたしました。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

2018年4月1日から 2019年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額							非 支 配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当 期 首 残 高	2,576	3,808	6,276	△ 2	12,659	310	－	1,969	32	181	2,494	31	15,185	
当 期 変 動 額														
剰余金の配当			△ 314		△ 314								△ 314	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			1,256		1,256								1,256	
新 株 の 発 行													－	
自己株式の取得				△ 0	△ 0								△ 0	
自己株式の処分													－	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△ 268	0	－	△ 20	△ 37	△ 326	△ 2	△ 329	
当期変動額合計	－	－	942	△ 0	941	△ 268	0	－	△ 20	△ 37	△ 326	△ 2	612	
当 期 末 残 高	2,576	3,808	7,218	△ 2	13,601	42	0	1,969	11	144	2,167	28	15,798	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	13,086,200株 (自己株式1,118株を含む)
単元株式数	100株
株主数	8,297名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 第 三 銀 行	588	4.49
株 式 会 社 百 五 銀 行	578	4.42
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	559	4.27
井 村 屋 取 引 先 持 株 会	506	3.86
MSIP CLIENT SECURITIES	365	2.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	329	2.51
株 式 会 社 り そ な 銀 行	286	2.18
株 式 会 社 西 村 商 店	239	1.82
中 山 芳 彦	228	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	216	1.65

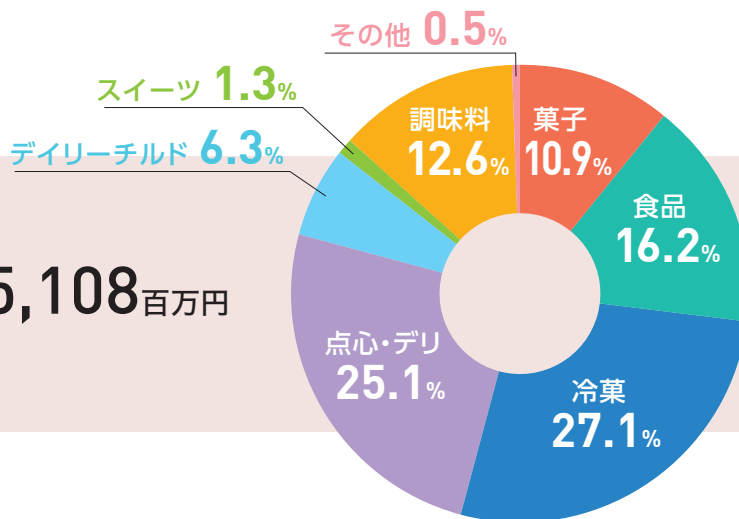
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

連結売上高 45,108百万円



菓子 4,875百万円 (前年比85百万円(1.8%)増)

「ようかん」類では「えいようかん」や「煮小豆ようかん」が順調に推移し、「どら焼」シリーズでは「煮小豆どら焼」の売上が伸長しました。中国のカステラ事業では井村屋(北京)食品有限公司(IBF)における米国向けの輸出が堅調に推移しました。



食品 7,318百万円 (前年比354百万円(5.1%)増)

冷凍パックまんの「冷凍2個入りゴールドまん」シリーズや「おしるこ」「ぜんざい」などのホットデザートが好調に推移しました。井村屋フーズ株式会社の加工食品事業ではOEM受託商品の売上が増加しました。



冷菓 12,237百万円 (前年比1,392百万円(10.2%)減)

「あずきバー」シリーズの売上本数は2億75百万本(前期比0.1%増)となり、過去最高の売上本数を更新しました。一方で、クリーム系アイス商品は夏の酷暑の影響がマイナスに働き、「やわもちアイス」シリーズや「クリームチーズアイス」シリーズの売上は前期を下回りました。しかし、「やわもちアイス」シリーズでは3月に発売した新商品「やわもちアイス 黒ごまカップ」やファミリータイプの「BOXやわもちアイス(つぶあんミルクカップ)」が好評をいただいております、今後に期待が持てる状況となっております。また、米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では、競争激化もあって、売上は前期を下回りました。



点心・デリ 11,316 百万円 (前年比598百万円(5.6%)増)

「肉まん・あんまん」などの「点心・デリ」カテゴリーは生産設備の増強やコンビニエンスストアとの取り組み強化など成長戦略を進めてきました。生産技術を活かした付加価値の高い商品が好評をいただき、コンビニエンスストアを中心に順調に売上を伸ばしました。



デイリーチルド 2,837 百万円 (前年比32百万円(1.2%)増)

チルドパックまんにおいても「チルド2個入りゴールドまん」シリーズの売上が増加しました。「豆腐類」では「**美し豆腐**」やその他の業務用商品が順調に推移しました。



スイーツ 591 百万円 (前年比17百万円(3.1%)増)

スイーツカテゴリーでは、「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が順調に推移しました。「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、関西地区初として5月に京都へ出店した「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) 京都祇園店」に続き、12月には「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) JR京都伊勢丹店」を出店し、順調に推移しています。2017年にオープンした「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) KITTE名古屋店」においても特長あるメレンゲ菓子の「**生ロカイク**」がテイクアウト商品として引き続き人気を集めております。また、12月にはJR京都伊勢丹店に「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー)」と同時に出店した「井村屋 和涼菓堂 京都店」も特色ある“アイスクリーム和菓子”を販売し、好評をいただいております。



調味料 5,691 百万円 (前年比342百万円(6.4%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、新規顧客獲得やお客様ニーズに対応した商品提案に取り組み、ODM (Original Design Manufacturing)、OEMの売上が順調に増加しました。中国での調味料事業では、北京の北京京日井村屋食品有限公司 (JIF) の商品提案が順調に進み、中国国内で売上が伸長しました。生産拠点である大連の井村屋 (大連) 食品有限公司 (IDF) では海外輸出の増加とコスト低減が図られました。



その他 237 百万円 (前年比8百万円(3.8%)増)

イムラ株式会社が行っているリース代理業は順調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っている「MOTTAINAI屋」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民の皆さまから引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「imuraya Sweets Shop irodori」や11月に本社近隣のイオンスタイル津南店に出店した「WaiWai (ワイワイ) ソフトアイスクリーム & スイーツ」では特色のあるスイーツ商品を中心に販売し、人気を得ております。

冷凍和菓子シリーズ

▼ 4コ入ふんわりどら焼(つぶあん)



▼ 6コ入もちもちりんご大福(つぶあん)



▼ 6コ入風味豊かなきなこおはぎ(つぶあん)



素材と製法にこだわった専門店の和菓子のように、本格的なおいしさをいつでも手軽に味わえます。

甘さ控えめで保存料・合成甘味料不使用で安全・安心です。

北海道産小豆を使用した、できたてのおいしさを食べたい時に好きな分だけ取り出してお召し上がりいただけます。

ゆず・コーヒーあずきバー



あずきバーと相性の良い素材を組み合わせることで新しい「あずきバー」を作り、新しい魅力や付加価値を創造したいと考えました。

「ゆずあずきバー」は2013年に展開していた商品で、再販希望の声にお応えし、さらにおいしくなって登場。高知県産のゆず果汁を使用し、自然なゆずの風味をお楽しみいただけます。

「コーヒーあずきバー」は深みのあるカフェラテアイスがあずきバーのまろやかさを引き立てます。コーヒーの苦み・深み・酸味があずきバーと相性抜群です。

きなこトッピング

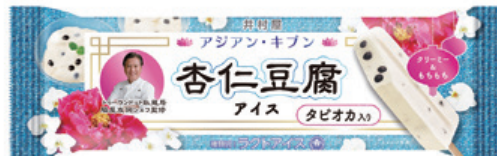


こちらのQRコードで
商品情報と
おすすめレシピ
公開中



好きな分だけ使えて保存が可能なトッピングシリーズに4品目が仲間入りです。
風味豊かな国産大豆100%のきなこを使用し、相性の良い黒糖を加えることで、コクのある甘さと風味をお楽しみいただけます。

アジアン・キブン杏仁豆腐アイス



「杏仁豆腐」と「タピオカ」の組み合わせが味わえるバーアイスです。
素材にこだわって杏仁本来の豊かな風味を再現し、冷凍下でも「もちもち」とした食感の「タピオカ」を使用しました。
トゥーランドット臥龍居のオーナーシェフである脇屋シェフ監修の本格的なアジアンスイーツアイスです。

袋入水ようかんシリーズ

▼袋入水ようかん(煉)



▼袋入水ようかん(ミックス)



▼袋入水ようかん(カロリーーフ)



▼袋入葛まんじゅう



シリーズ全品をさらにおいしくリニューアルしました。
口どけが良くなめらかな食感で、さらにすっきりとした味わいに仕上げました。
パッケージデザインも刷新し、売場で目立つ様にしました。

2018年度 日本経営品質賞「経営革新推進賞」受賞

日本経営品質委員会が主催する経営品質賞「2018年度経営革新推進賞」を井村屋(株)が受賞いたしました。開発力強化への継続的な取り組み、SNSを駆使したプロモーション活動、フルカテゴリー戦略など他社にない独自性があると評価いただき受賞となりました。

今後も商品・サービスの提供を通じて、お客様の「おいしい！の笑顔」を創造してまいります。



Japan Quality Award
2018年度 経営革新推進賞



井村屋スタートアッププランニング株式会社 設立

2019年4月1日に井村屋スタートアッププランニング(株)を設立いたしました。

将来の柱となる事業を創出するため、グループの強みを活かした「和」と「健康性」をテーマに起業化し、国内外での新規事業の展開を目指し、総合的な支援を行います。(資本金：100百万円)



地球温暖化防止活動環境大臣表彰 受賞

カーボンフットプリントや、木質バイオマスボイラ、アイタワールでのCO₂削減などの活動を評価いただき、井村屋㈱が環境省から地球温暖化防止活動環境大臣表彰（対策活動実践・普及部門※）を受賞いたしました。

今後も「エコノミカルはエコロジカル」の考えの基、企業活動を行い環境にやさしい活動を行ってまいります。

※「対策活動実践・普及部門」は地球温暖化防止に役立つライフスタイルや地域に関する効果的な節電活動などを概ね5年以上継続する、または将来的に持続的発展が期待される活動に関して評されるものです。



海外事業展開

井村屋グループでは中国に4社、アメリカに1社の計5社で海外事業が形成されています。

中国事業会社

国内販売・輸出用のカステラや加工食品メーカー向けの加工食品に使用される粉末調味料の製造・販売をしております。

IMURAYA USA, INC.

乳製品不使用のアイスクリーム風デザートを“おもち”で包んだノンデイリー商品の製造・販売、中国事業会社にて製造したカステラを輸入し、アメリカ国内にて販売しております。

今後も、新たな食文化の提案で販路拡大につなげ、世界へ「おいしい！の笑顔の輪」を広げてまいります。



アズキキングの森 ～しいたけ菌打ち体験～

井村屋グループは、商品の生産において雲出川の恩恵を多大に受けてきました。そこで雲出川の水資源に対する感謝を表すとともに、地域貢献としてその支流の一つが流れる津市白山町の森をアズキキングの森として2018年1月より活動しています。

現在は自治会、地元の皆さま・従業員やそのご家族と多くの方と森の整備を行っており、初のイベントでは食育活動の一環として「しいたけ菌打ち体験」を開催しました。今後も季節ごとのイベントを企画し皆さまにより親しまれるアズキキングの森となるよう活動してまいります。



井村屋グループ株式会社　くるみんマーク取得

井村屋グループでは全社的に従業員の子育て支援に積極的に取り組む企業として託児所の運営や男性従業員の育児休暇取得推進を行っています。2012年には井村屋(株)が「くるみん認定(マーク)※」を取得し、井村屋グループ(株)でも短時間勤務の期間延長などの子育て支援に対する拡充を積極的に進め、2018年に取得いたしました。今後も働きやすい環境の整備と意識改革を積極的に行ってまいります。

※行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣(都道府県労働局長へ委任)より受けられる認定



渋沢栄一賞を受賞

「日本近代経済社会の父」と呼ばれる渋沢栄一の精神を受け継ぐ全国の企業経営者に贈られる「渋沢栄一賞」を弊社会長の浅田が受賞いたしました。

井村屋グループの全従業員で取得したという思いで、これから10年、20年…と継続・成長していけるよう、全社一丸となりこだわりの商品・サービスを提供し続けてまいります。



京都にスイーツ店舗がオープンしました

2003年から日本で展開しております「La maison JOUVAUD」と、日本古来の「和」にこだわった「和涼菓堂」の2店舗が新たに京都でオープンしました。

La maison JOUVAUDではメレンゲを岩のように焼いたロカイユという商品をはじめ、京都限定のスイーツを取り扱っております。

和涼菓堂では井村屋のロングセラー商品あずきバーに季節に応じてフルーツなどをトッピングした「涼菓バー」や、こだわりのアイスクリームを柔らかいもちで包んだ「もち涼菓」を販売しています。

京都にお越しの際はぜひ、お立ち寄りください。



もち涼菓 ▶



▲La maison JOUVAUD JR京都伊勢丹店



▲ロカイユ



▲涼菓バー

新TVCMスタート

2019年度のあずきバーCMが今年もスタートしました。
本年度も井村屋グループのイメージキャラクターを務める
尾上松也さんが、女の子とあずきバーに入っているあずき
の数について話をする「知ってる篇」となっております。
さらにおいしくリニューアルしたやわもちアイスのCMは
ホームページで公開中です。



▼リニューアル＆新フレーバーのやわもちアイスはこちら▼



BOXやわもちアイス
(つぶあんミルクカップ)

ミニカップにおもちが
3つ入ったファミリー
パックタイプ



やわもちアイス
(黒ごまカップ)

3種のゴマを使用
したゴマ好きには
たまらない商品



やわもちアイスFruits
メロン&バニラ

これからが旬のメロン
をたっぷり使用した
ごほうびアイス



やわもちアイス
(つぶあんミルクカップ・抹茶つぶあんカップ・わらびもち)

原材料や配合を見直し、コクがありかつすっきりとした味わいに仕上げ
さらにおいしくリニューアルしました。

大事な人とあずきバーキャンペーン

大事な人とあずきバーキャンペーンが今年も始まり
ました。対象商品についている応募マークを集めて
ご応募ください！



井村屋 BOXあずきバーシリーズ

大事な人とあずきバーキャンペーン

近畿日本フーリスト
旅行券5万円分
10枚1口 20名抽

グルメ
カタログギフト
1万円コース
5枚1口 100名抽

近畿日本フーリスト
旅行券5万円分
10枚1口 20名抽

グルメ
カタログギフト
1万円コース
5枚1口 100名抽

あずきバーオリジナル
QUOカード
1,000円分
1枚1口 20名抽

井村屋株式会社
TEL:0120-931-693
http://imureya-cp.jp

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬頃にお送りいたしております。以下は、2019年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋新商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

① 1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



② 1,500円相当のセレクトギフト

次の2種類からお一つ選びいただけます。

アイスクリーム詰め合わせ



マイギフト



※②でアイスクリーム詰め合わせをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

持株会社 概要(2019年6月21日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業 明治29年(1896年)
設立 昭和22年(1947年)4月
資本金 2,576百万円
従業員数 45名 ※グループ全体では944名(2019年3月31日現在)
事業内容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理

役員・執行役員

代表取締役会長(CEO)	浅田 剛夫
代表取締役社長(COO)	中島 伸子
代表取締役副社長	前山 健
専務取締役兼上席執行役員	菅沼 重元
常務取締役兼上席執行役員(CTO)	中道 裕久
常務取締役兼上席執行役員	岩本 康
取締役兼上席執行役員	大西 安樹
取締役兼上席執行役員	富永 治郎
取締役	名倉真知子
取締役	西岡 慶子
上席執行役員	森井 英行
上席執行役員	近藤 久嗣
上席執行役員	岩上 真人
執行役員	行方 貞彦
執行役員	井村 慎
執行役員	甲斐下方俊
常勤監査役	脇田 元夫
常勤監査役	寺家 正昭
監査役	若林 正清
監査役	橋本 陽子

(注) 取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<http://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook
<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram
https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(2019年6月21日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容: 菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷凍、スイーツの製造販売
代表者: 浅田 剛夫、前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社
所在地: 愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容: 菓子、食品、冷凍、調味料、食品添加物の製造販売
代表者: 菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容: リース代理店業務、不動産管理業務等
代表者: 池田 秀治
<https://www.imura-kk.co.jp/>

北京京日井村屋食品有限公司
所在地: 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容: 調味料の販売
代表者: 前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司
所在地: 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容: 菓子、点心・デリの製造販売
代表者: 前山 健、中野 憲一
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.
所在地: 2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容: 冷凍の製造販売
代表者: 浅田 剛夫、甲斐下方 俊
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司
所在地: 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容: 菓子、調味料の製造販売
代表者: 前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/ldf/>

井村屋(北京)企業管理有限公司
所在地: 中国北京市朝陽区東三環北路甲19号楼9階1003室
事業内容: 中国事業会社全体の資金管理及び事業戦略に関する支援業務
代表者: 富永 治郎、鈴木 和久

井村屋スタートアッププランニング株式会社
所在地: 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容: グループ各社が有する技術の新規事業または創業の支援
代表者: 大西 安樹



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサ
ルデザインフォント
を採用しています。